



会計専門コース2年
茂木 亮輔

会計研での受験生活について

私は大学2年生から会計士試験の勉強をしましたが、大学時代は部活動も行ってたため、コマ数が増えていくにつれ予備校のカリキュラムに対応できなくなっていました。結果として、大学在学中に合格することはできませんでした。その後、2020年に会計研に入学し、2021年5月の短答式試験に合格、同年8月の論文式試験に合格しました。2020年はコロナ禍だったこともあり、会計研の授業はリモートで受け、主に家で受験勉強を行っていました。コロナが落ち着いた秋学期からは、対面の授業にも参加し、気分を切り替えることができました。また、同じように会計士を目指す友人と話すことや実務家の授業を受けることでモチベーションが高まり、高い集中力で受験勉強を行うことができました。

試験対策について

会計研入学当時は知識に穴が多かったので、予備校の講義をすべて見返して基礎から学びなおしました。この時は試験まで時間があつたので、計算力を試験で通用するレベルにまで引き上げるよう勉強しました。その後、短答式試験直前期には、理論問題で間違えることが多かったので、理論問題集を高速で回転して勉強しました。私の場合は1日で全科目に触れると暗記の精度が落ちるので、1日2科目くらいを勉強していました。勉強方法については色々な方法があると思うので、自分のスタイルに合った勉強法で行うことが大事だと思います。論文式試験については、会計研で学んだことが役に立ったと思います。会計研の授業は、会計や監査の基準に触れるだけでなく実際の事例や制定された背景について触れられ、これが論述の際に役立ちました。

入学検討中の方へのメッセージ

入学を検討されている皆さんの置かれている状況は、様々だと思いますが、私一人の考えとしては、会計研に入学してよかったです。予備校の勉強をしていれば、会計研に入学しなくても公認会計士試験に受かったかもしれません。しかし、会計研の授業は予備校で習うものと違った側面で会計について学べますし、事業再生実務やIPO実務など会計研ならではの提携講座など、授業科目も豊富です。こうした授業に参加し、自身の知見を広めながら公認会計士論文式試験に合格できたため、私は入学してよかったです。

会計専門コース1年
小林 あかり

試験対策について

私が試験対策で最も重視していたことは、復習・解き直しです。初見の問題は自分の実力を把握するために大切ですが、結果の良し悪しに一喜一憂している時間がもったいないので、特に計算科目の基本的な問題は解答を覚えてしまうくらい何度も解き直しを行いました。基礎が理解できていれば、応用問題の論点も見つけられるので基礎を固めることが大事だと思います。理論に関して、特に論文式試験については全体像を常に意識することを大切にして、基本的には問題集ではなく、テキストの読み込みを行いました。また、会計研の授業で理論的な背景や実務での取扱い等をより詳しく教えていただき、定型的な説明だけではなく、より納得できる説明をしていただけたので、理論科目の理解に役立ち、試験の対応力に繋がりました。会計研に進学したことで会計を専門的に学ぶ環境が整えられたことも、私にとって良い変化だったと思います。

入学検討中の方へのメッセージ

私は学部時代に短答式試験は合格しており、会計研の授業は予備校とは違う多角的な視点や実務を学ぶことができ、より深い知識を得られたと感じているため、進学という選択は正しかったと思います。会計研では、基準作成に携わっていた方や各分野のプロフェッショナルである先生が講義をしてくださっているため、特にホットな話題や将来の変化などについて先生の考えをお伺いできたときは、とても貴重な時間を過ごせていると感じます。私が入学前に不安のあった会計研と受験勉強の両立についてですが、会計研の授業はクォーターの科目が多いので、受験勉強の状況に合わせて時間割を調節することができ、入学前の不安な気持ちとは裏腹に、ストレスなく会計研の勉強と受験勉強を両立することができました。会計研は、自分の価値を高められる貴重な場所だと思うので、少しでも会計研に興味のある方は進学をお勧めします。